

おおたく
大田区

さいがいじこべつひなんけいかくさくせい てび
災害時個別避難計画作成の手引き

ほんにん ちいききにゅう こべつひなんけいかく
【本人・地域記入の個別避難計画】

こべつひなんけいかく さくせい さいがいじ ひなん そな
個別避難計画を作成して、災害時の避難に備えましょう！

こべつひなんけいかく
1 個別避難計画とは

さいがいはっせいじ ひなんこうどうようしえんしゃ かた ひなん ひなんさき ひなんけいろ ひなん しえん
災害発生時に避難行動要支援者(※)の方が避難できるよう「避難先」「避難経路」「避難の支援
をしてくれる方(親戚・知人等)」等を記入する計画です。

※ ひなんこうどうようしえんしゃ いか かた たいしやう
避難行動要支援者・・・以下の方が対象です。

- ようかいご さいいじやう かた しかくしやう きゆう かた ちやうかくしやう きゆう かた
要介護3～5の65歳以上の方 ○視覚障がい1、2級の方 ○聴覚障がい2、3級の方
 - いどうきのうしやう きゆう かた かししやう また たいかんきのうしやう きゆう かた あい てちやう ど かた
移動機能障がい1～4級の方 ○下肢障がい又は体幹機能障がい1～3級の方 ○愛の手帳1～4度の方
 - さいいじやう く ひなんこうどう しえん ひつやう かた
65歳以上のひとり暮らしで避難行動に支援が必要な方
 - ほかにひなんこうどう しえん ひつやう かた せいしんしやう なんびやうかんじやとう ふく
その他避難行動に支援が必要な方(精神障がい、難病患者等を含む)
- ふくしせつにゆうしよしゃなど ひつやう ひなんしえん え じやうきやうか かた たいしやうがい
(福祉施設入所者等、必要な避難支援が得られる状況下にある方は、対象外です)

さくせいほうほう
2 作成方法

ほーむペーじ ようしき
ホームページで様式を
ダウンロード



ほんにん かぞく てび
本人・家族が手引きを
さんこう さくせい
参考に作成



ひなん しえん かた
避難の支援をしてくれる方
しんせき ちじん けいかくしよ わた
(親戚・知人)に計画書を渡す



さくせいしえん
作成支援

ちいき かた じちかいちやうかい みんせいいいんなど
【地域の方(自治会町会、民生委員等)】
ほんにん かぞく いらい ばあいしえん
本人・家族から依頼があった場合支援

- ※ けいかくしよ ないやう へんこう こうしん ひなん しえん かた しんせき ちじんなど わた
計画書の内容に変更があったら、更新をして避難の支援をしてくれる方(親戚・知人等)に渡しましょう。
- ※ く ていしゆつ ふやう
区への提出は不要です。

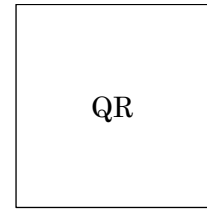
3 風水害のリスクの確認について

大雨や台風は、震災とは異なり、接近時期や規模を事前に程度予測することができるため、事前に避難することができます。

自宅にどのようなリスクがあるか、ハザードマップ等で確認し、個別避難計画に記入しましょう。



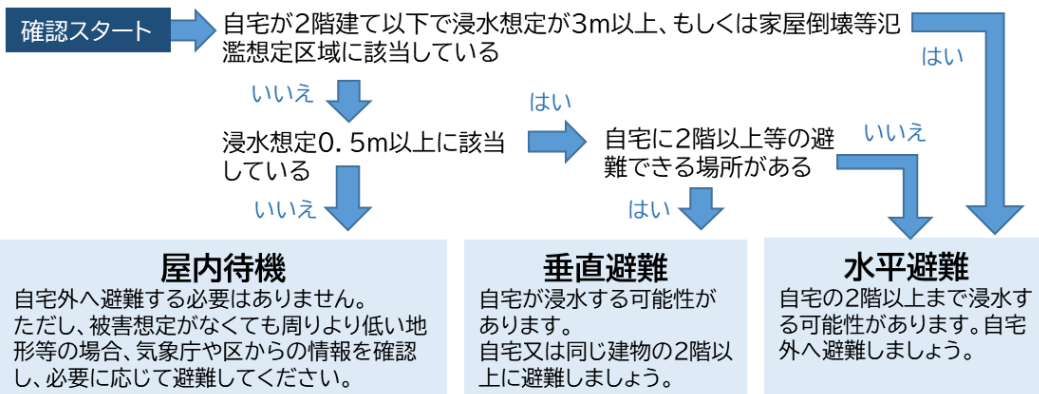
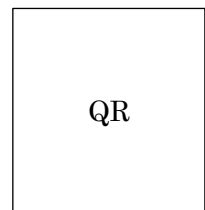
▽ハザードマップはこちら



4 避難先について

(1) 風水害の場合 フローチャートを参考に避難先を検討しましょう。

▽水害時の避難先はこちら

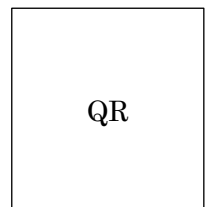


(2) 地震の場合

地震の時の避難所として、区立小学校、中学校等91か所を指定し、自治会・町会単位で避難先を割り当てています。※風水害時の割り当てはありません。

なお、大きな地震があった時でも、自宅等で生活が可能であれば避難所で生活をする必要はありません。ご自宅で避難生活が送れるよう準備することも重要です。

▽地震発生時の避難先はこちら



※ 要配慮者スペースについて

学校避難所において、一般スペース(体育館等)で過ごせない方のために要配慮者スペースを設置します。

【避難する際のお願い】

- 要配慮者1名につき、介助者1名の付き添いで避難してください。
- 避難する方が避難生活を送るうえで必要なものは持参してください。

【要配慮者スペースの特徴】

要配慮者スペースには、要配慮者の介助のための備品(ダンボールベッド、パーテーション、ジョイントマット等)が配備されます。また、要配慮者の特性に応じた伝達方法で情報を提供します。

【問い合わせ先】

○個別避難計画に関すること

福祉管理課 5744-1721

○ハザードマップ、避難、防災全般に関すること

防災危機管理課 5744-1236

大田区個別避難計画書

《本人・地域記入作成様式》

記入例

作成日:令和4年〇月〇日

記入者: 大田 花男


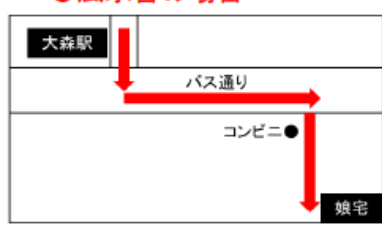
1 本人情報		対象者の方の情報(住所、連絡先、心身の状況)を記入しましょう。			
(フリガナ) 氏名	(オオタ ハナコ) 大田 花子	男・女	生年月日	昭和20年1月1日(77歳)	
住所	東京都大田区蒲田5-13-14				
電話番号	5744-〇〇〇〇	FAX	5744-〇〇〇〇	メール	〇〇〇@×××.××
心身の情報	障害者手帳	<input type="checkbox"/> 身体() <input type="checkbox"/> 知的 <input type="checkbox"/> 精神()級・度			
	介護認定	要支援・要介護 1・2・ 3 ・4・5			

2 世帯情報		世帯の構成、居住環境、水害時のリスク、避難先を記入しましょう。			
世帯の構成	<input type="checkbox"/> ひとり暮らし <input checked="" type="checkbox"/> 同居人あり →全員65歳以上か はい・いいえ	ペット	<input type="checkbox"/> いない <input checked="" type="checkbox"/> いる →種類(小型犬)		
世帯構成員	氏名(続柄) 大田花男(長男)、大田太郎(夫)				
居住環境	建物	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建て <input type="checkbox"/> マンション <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他	構造	<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄筋造	
	居住階	2階建の1階		エレベーター	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし
水害時のリスク	<input type="checkbox"/> 浸水深0.5m~ <input checked="" type="checkbox"/> 浸水深3m~ <input type="checkbox"/> 家屋倒壊等氾濫想定区域 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域 <input type="checkbox"/> その他()				
避難先	風水害	①蒲田花江(長女)宅 ②ホテル 水害時のリスクは、手引き裏面「3 風水害のリスクの確認について」参照			
	地震	①自宅 ②〇〇小学校 避難先は、手引き裏面「4 避難先について」参照 避難先は、在宅避難、親戚・知人宅、ホテル等も含めて検討しましょう。			

▲避難先は、在宅避難、親戚・知人宅、ホテル等も含めて検討してください。

3 緊急連絡先		親族や知人の方等、実際に連絡できる方の連絡先を記入しましょう。				
①	(フリガナ) 氏名	(オオタ ハナオ) 大田 花男	続柄	長男	電話	5744-〇〇〇〇
	住所	東京都大田区蒲田5-13-14		メール	〇〇〇@×××.××	
②	(フリガナ) 氏名	(カマタ ハナエ) 蒲田 花江	続柄	長女	電話	5744-〇〇〇〇
	住所	東京都大田区大森〇〇〇〇		メール	〇〇〇@×××.××	

4 避難の支援をしてくれる方(親戚・知人等)		避難支援をしてくれるか確認したうえで記入しましょう。				
①	(フリガナ) 氏名	(オオタ ハナオ) 大田 花男	続柄	長男	電話	5744-0000
	住所	東京都大田区蒲田5-13-14	メール	000@x x x . x x		
②	(フリガナ) 氏名	(カマタ ハナエ) 蒲田 花江	続柄	長女	電話	5744-0000
	住所	東京都大田区大森0000	メール	000@x x x . x x		

5 避難の支援方法		避難の支援をしてくれる方と相談して記入しましょう。			
介助の必要性	<input type="checkbox"/> 介助不要 <input checked="" type="checkbox"/> 一部介助が必要 <input type="checkbox"/> 全介助が必要				
避難手段	<input checked="" type="checkbox"/> 徒歩・交通機関 <input checked="" type="checkbox"/> 車いす <input type="checkbox"/> タクシー・施設バス <input type="checkbox"/> 寝台タクシー <input type="checkbox"/> その他				
具体的な支援方法	<p>●風水害時は、計画運休する前に電車で蒲田花江宅に避難する。</p> <p>●地震発生時は、避難が必要な場合は〇〇小学校へ避難する。自宅が無事であれば、自宅で避難生活を送る。</p>				
避難経路	<p>●地震の場合</p> 		<p>●風水害の場合</p> 		
	<p>地震の時の避難所は、自治会・町会単位で避難先を割り当てています。</p>		<p>※大森駅までは電車で行く</p> <p>台風等、事前に避難が必要だとわかる場合は、交通機関が動いているうちに避難をしましょう。</p>		
避難時の持物	<p>非常用持ち出し袋、薬、老眼鏡、マスク、手指消毒液</p> <p>必要な持物をリストアップして、すぐに持ち出せるよう準備しましょう。</p>				

6 避難先での生活支援方法		避難の支援をしてくれる方と相談して記入しましょう。				
避難先への同行者	(フリガナ) 氏名	(オオタ ハナオ) 大田 花男	続柄	長男	電話	5744-0000
	住所	東京都大田区蒲田5-13-14				
避難先での支援 (該当があれば、避難先の支援者に申し出る)	<input checked="" type="checkbox"/> 排泄、食事、着替え等において介助を要する。 <input type="checkbox"/> 周囲に配慮できない行動を取ることがある。 <input type="checkbox"/> 聴覚等の障がいにより、情報収集等に困難を伴う。 <input type="checkbox"/> その他、避難生活時に不安なことがある。					
自治会・町会名	〇〇自治会 <small>お住まいの地域の自治会・町会についてはホームページで確認しましょう。</small>					
民生委員氏名	大森 次郎					
担当ケアマネジャー・相談支援専門員	事業所名: 〇〇ケアステーション 担当名: 調布 三郎					

7 特記事項

その他、避難について必要な情報を記入(自由記入)